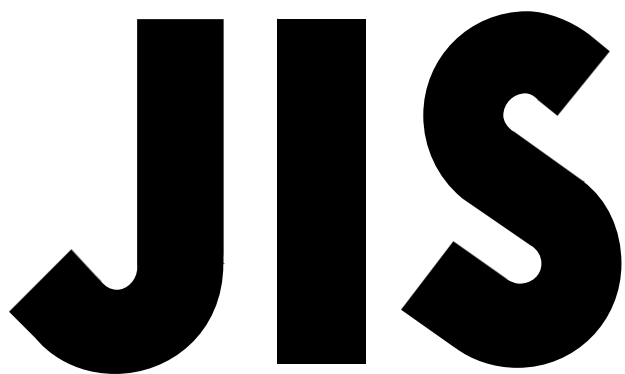




片開きドアセットの面内変形追随性試験方法

JIS A 1521 : 2018

(JSMA/JSA)

平成 30 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	海 野 敦	独立行政法人住宅金融支援機構
	加 藤 信 介	東京大学
	川 上 修	一般財団法人建材試験センター
	橘 高 義 典	首都大学東京
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会（三井ホーム株式会社）
	棚 野 博 之	国立研究開発法人建築研究所
	長 島 一 郎	一般社団法人日本建設業連合会（大成建設株式会社）
	西 野 加奈子	一般社団法人建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会（藤野アトリエ一級建築士事務所）
	村 川 まり子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会（鎌倉市消費生活センター）
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会（芝浦工業大学）
	吉 野 裕 宏	国土交通省大臣官房官庁営繕部

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 63.9.1 改正：平成 30.3.20

官 報 公 示：平成 30.3.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本サッシ協会

（〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4 愛宕東洋ビル TEL 03-6721-5934）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：建築技術専門委員会（委員長 伊藤 弘）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験装置	2
5 試験体	5
6 試験	5
6.1 試験体の取付け	5
6.2 試験環境	5
6.3 試験手順	5
7 試験結果の記録	8
8 報告書の記載事項	8
附属書 JA（参考）面内変形追従性試験装置の詳細	9
附属書 JB（参考）JIS と対応国際規格との対比表	12
附属書 JC（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	14
解 説	19

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本サッシ協会（JSMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 1521:1996** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

片開きドアセットの面内変形追随性試験方法

Doorsets—Diagonal deformation test under static load

序文

この規格は、日本からの提案によって 2007 年に第 1 版として発行された **ISO 15822** を基とし、国内事情を反映するため、技術的内容を一部変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を、**附属書 JC** に示す。

1 適用範囲

この規格は、**JIS A 1513** に規定する試験項目のうち、静的荷重による片開きドアセットの面内変形追随性試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 15822:2007, Test method of doorset opening performance in diagonal deformation—Seismic aspects (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1513 建具の性能試験方法通則

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

ドアセット

あらかじめ枠と戸とが製作・調整されていて、現場取付けに際して一つの構成材として扱うことができるもの。

3.2

面内変形追随性

ドアセットの枠を面内方向に変形させたときの戸の開閉可能な度合い。